

潜在意識との会話

カフナの祈りにおける、潜在意識との会話法

1. 潜在意識を整える — 許しと浄化

- フナの実践では**「回路をクリアにする」**ことが必須とされます。
 - 他人を許し、自分を許す。
 - 必要であれば「善行」を行い、本気の証として潜在意識（ウニヒピリ）に示す。
-

2. 潜在意識に願いを伝える — 心像の準備

- 具体的に1つの願望を選ぶ。曖昧にせず「これを実現したい」と決める。
 - 心に鮮明なイメージを描く。
 - 見る、聞く、触れる、味わう、匂うなど五感を総動員。
 - そこに「感情（強い願望）」を加える。
 - 否定形は使わない。
 - ×「病気がなくなる」 → ○「私は完全に健康で元気だ」。
-

3. 呼吸とマナ（生命力）の送信

- 深呼吸でエネルギー（マナ）を充電。
 - 潜在意識に心像を送り、それがアカの糸を通じてアウマクア（高次の自己）へ届けられる。
 - 祈りのときの言葉例：
 - 「この映像を完全な形で高次の自己に送ります」
 - 「十分なマナを添えて現実化してください」。
-

4. 潜在意識との会話のコツ

- 静かな場所で短時間（5～10分）、心身をリラックスする。
- 声に出して「私は今、心身ともに落ち着き、エネルギーが満ちている」と自己暗示する。

- その後、潜在意識に向けて明確な願いを伝える。
 - 潜在意識は「映像・感情・繰り返し」によって理解するので、言葉だけよりもイメージが効果的。
-

5. 継続と信頼

- 一度願いを送ったら「種を植えた」と同じ。掘り返さず、毎日エネルギーを送り続ける。
 - 不安や疑いを何度も潜在意識に投げると混乱を起こすので、信頼して任せる。
-

6. 実践のヒント（Max Freedom Long & HRA の知見）

- 祈りや願望の実現には、潜在意識が抵抗しない願いから始めると良い。
 - 潜在意識を「協力的なパートナー」として扱うことが大切。命令するのではなく、共に作業する感覚を持つ。
 - 潜在意識との関係が強まると、直感や夢を通して「返答」が得られることがある。
-

まとめ

潜在意識との会話は、

1. 許しと浄化で回路を整える
 2. 鮮明な心像+強い感情を作る
 3. 呼吸でマナを送り、祈りとして伝える
 4. 繰り返しエネルギーを与えつつ信頼するという流れで行われます。
-

ダウンジング（振り子）を潜在意識との会話手段として使う方法

- 振り子（pendulum）はロウセルフ（潜在意識）とミドルセルフ（顕在意識）の間の通信手段として働く。
 - 例えば、マナ（生命力）の蓄積量を確認する際、利き手でない手のひらの上に振り子を垂らして質問すると、潜在意識が振り子を動かして答えを示す。
 - 呼吸法でマナを充電すると、その直後に振り子の円運動が大きくなり、マナが増えたことを潜在意識が知らせてくれる。
 - 祈りや願望をアウマクアに送った後に測定すると、振り子が静止する（マナを使い果たした場合）。この確認により、祈りが正しく行われたという「信頼感」を得られる。
-

まとめ

- 振り子＝潜在意識の応答装置
 - 潜在意識がアカの糸とマナを使って物理的に動かしていると解釈される
 - 祈りや呼吸法の効果を測定する道具として利用可能
-

振り子を使った潜在意識との会話マニュアル

準備

1. **振り子（ペンデュラム）**を用意する
 - 金属、石、水晶など、軽くてバランスの取れるものを糸やチェーンにつける。
 2. 静かな場所に座る
 - 妨げのない場所で行う。
 - 深呼吸を数回行い、心身をリラックスさせる。
 3. 質問は明確に
 - 「はい/いいえ」で答えられる形にする。
 - 例：「私は十分にマナを蓄積していますか？」
-

基本手順

1. 振り子の反応を確認する

- 「はい」「いいえ」の反応を事前に設定する。
 - 例：「はい」のときは前後の揺れ、「いいえ」のときは左右の揺れ。
 - 潜在意識に「これをルールにする」と伝える。

2. マナ（生命力）の測定

1. 左手をひらき、その上に振り子を垂らす。
2. 深呼吸をしてマナを充電する。
3. 充電後、振り子が大きく円を描くように動けば、マナが十分に蓄えられたサイン。

3. 祈りの送信確認

1. 祈りや願いを、心像と感情を込めてアウマクアに送る。
2. 送信直後に振り子を確認すると、動きが止まる。
 - これは「マナが送信され、潜在意識の作業が完了した」サイン。

4. 潜在意識への質問

- 「私は今、正しく祈りを送りましたか？」

- 「私の潜在意識は協力的ですか？」
 - など、はい/いいえ形式で質問し、振り子の揺れで答えを受け取る。
-

ポイント

- 潜在意識（ウニヒピリ）は映像・感情・反復で理解する。
 - 振り子は「無意識の微細な筋肉運動」を通じて動くが、フナでは潜在意識がマナを使って答えていると解釈される。
 - 疑いすぎると潜在意識が混乱しやすい。信頼して観察することが大切。
-

実践スケジュール例

- 朝：深呼吸でマナ充電 → 振り子で測定 → その日の祈りを送信
 - 夜：その日の振り返り → 「今日の祈りは正しく届きましたか？」と潜在意識に確認
-

振り子を使った潜在意識との会話例

1. マナの状態を確認する

質問（顕在意識から潜在意識へ）

「今の私には十分なマナ（エネルギー）が蓄えられていますか？」

振り子の答え

- はい：前後に揺れる
- いいえ：左右に揺れる

👉 補足：もし「いいえ」であれば、深呼吸を繰り返し、再度質問。

2. 祈りの送信確認

質問

「私は祈りを正しくアウマクアに送りましたか？」

振り子の答え

- はい：円を描くように回転

- いいえ：揺れが止まる、または左右に揺れる

👉 補足：「いいえ」の場合、映像イメージや感情を強めて再送信する。

3. 日常的な自己確認

質問

- 「私の潜在意識は、今、協力的な状態にありますか？」
- 「私の体は休息を必要としていますか？」
- 「私は今日、祈りや瞑想をするのに適した状態ですか？」

振り子の答え

はい／いいえ で明確に答えが出る。

4. 記憶や感情の確認

質問

- 「私の潜在意識は、過去の経験による恐れをまだ握りしめていますか？」
- 「その恐れを手放す準備ができていますか？」

👉 潜在意識が「はい」と答えたら、許しのワークや呼吸で浄化を行う。

5. 応用的な会話

質問

- 「この目標を達成することを、あなた（潜在意識）は受け入れていますか？」
- 「そのために必要な新しい習慣を、私と一緒に始めてくれますか？」

振り子の答え

- はい → 計画を進める
 - いいえ → 潜在意識が抵抗しているサイン。願望を小さく分けて再設定。
-

実践上の注意

- 潜在意識は「はい／いいえ」の単純な答えしか返せない。
 - あいまいな質問は混乱を招くので避ける。
 - 答えを信じすぎず「確認の補助」として利用する。
 - 定期的に「感謝の言葉」を潜在意識に伝えると関係が安定する。
-